

支 援

町田市学校支援ボランティア感謝状贈呈式



2017年度町田市学校支援ボランティア感謝状贈呈式が2月6日（火）午後2時より、町田市民フォーラム3階ホールで開催されました。佐藤昇教育委員長は、学校における活発な活動、安全・安心な日々は学校支援活動の賜物であるとし、その尽力に謝意を表明すると共に、地域学校協働活動の



在り方を皆様と一緒に考えていきたいと挨拶をいたしました。今年度の感謝状は31名の皆様と14団体、計45の個人・団体の皆様に、坂本修一教育長からおひとりおひとりへのお礼の一言とともに贈呈させていただきました。



受け取られた皆様を代表して2名の方からご挨拶をいただきました。町田第二中学校で野球部を指導してくださっている吉川克己様は、「町田育ちとして恩返しをしている。これは自分の喜びでもある」と話されました。また、三輪小学校で自然体験学習指導をしてくださっている樹木・環境ネットワーク協会の久保重明様は、「地域の里山を安全にする活動を学校と連携して進めている」と話されました。地域学校協働活動の趣旨に沿った活動が取り込まれつつあることを想起させるお話が、御両名それぞれによってされたのは印象的でした。

奥田奈緒子指導主事から町田市学校支援ボランティアの取り組みについての説明がされた後、小中2校のボランティアコーディネーターから、それぞれの取り組みが報告されました。最後に、北澤英明学校教育部長が学校支援ボランティア活動は子どもの学び・成長を支える学校を核とした地域づくりを推進するものと締めくくり、町田市学校支援ボランティア感謝状贈呈式は閉式となりました。

ボランティアコーディネーター（以下VC）による実践報告

町田市学校支援ボランティア感謝状贈呈式で2校のVCの実践報告が行われました。

町田第三中学校 森真理VC、伊波善江VC

昨年4月に着任したばかりのVCである両名が、職としての責を引き継ぎ、すべてが初めての活動に戸惑いながらも、さらに発展させていく様子が報告されました。

町田第三中学校の学校支援ボランティア活動は、総合的な学習の時間や特別支援学級での学習支援、地域清掃や郷土学習などの地域学校協働活動、部活動指導支援、そして放課後学習支援を中心に取り組まれています。着任1年目のVCは放課後学習支援「Ⅲ中未来塾」を主にかかわる活動として進めました。

それまで行われていた自習形式の放課後学習教室を、質的にも量的にもさらに充実したものにするために、VCと学校の協議の上で運営の改善を図りました。大学生・教員OB・地域住民などの学習支援ボランティアを指導者に加え、タブレット端末を使った学習を導入し、学習教室運営の中心は学力向上担当教員とVCが担うこととしました。生徒は年度初めの募集だけでなく、随時受付で参加することができます。タブレットはそれ自体が生徒の興味・関心を呼び起こすだけでなく、生徒一人一人がそれぞれの習熟度に応じた学習を継続的に取り組むことがで



きるものです。大きな効果が生み出されていることが文部科学大臣表彰に繋がりました。

VCは学校との連絡・調整、生徒の募集、学習支援ボランティアの手配、当日の受付、タブレットの管理、より一層の発展を目指してのアンケート調査などに関わっています。

町田第一小学校 相澤真理VC

経験豊かなVCが地域と学校を繋ぎ、多彩な学校支援活動・地域学校協働活動を展開する様子が報告されました。

町田第一小学校の学校支援ボランティア活動は、児童の個別学習補助、町探検や農家・町工場見学などの郷土学習支援、様々な体験学習・キャリア教育などの学習支援、地域清掃や郷土学習、防災目的の「学校に泊まろう！」などの地域学校協働活動等々と多岐に亘って計画的・系統的に展開されています。ほぼその全てに関わっているVCは、これらの取り組みをただ続けるだけでなく、よりよいものにする工夫もしながら進めています。各学年の学習内容に合わせて日程や内容の設定を教員と協議・検討した上で実施します。



授業中の個別学習補助を中心に多くの大学生ボランティアが参加していますが、VCは事前に活動の心得を指導するだけでなく、緊密な連絡、児童への対応の仕方についての助言、そして大学生からの相談に応じるなど、次世代に繋がる人材の育成を進めています。また、諸活動の記録写真を教員たちが閲覧できる資料としたり、掲示して広報したりする工夫もします。これらは、たとえ教員が入れ替わったとしても、地域に学ぶ地域の学校として一貫した町田第一小学校の教育活動を支える一助になるものと考えられます。

東京都の地域学校協働活動の推進にも関わられているVCが、これらの活動は他には見られない町田市教育委員会の組織的な学校支援の体制により進められているものであると強調され、話を締め括られたのには印象深いものがありました。

2017年度 MGN活用VCミーティングが開催されました

2月28日(水)に町田市教育センター2階パソコン室を会場に、2017年度MGN活用VCミーティングが開催されました。VCを結ぶネットワークであるMGN（町田市学校支援ネットワーク：Global Portal）の活用をさらに進めるために、利用者を対象にした機能の操作説明会として企画したものです。当日は①Global Portalのフォルダ機能とその操作方法、②スケジュール機能の利用法、③学校支援ボランティア人材バンクの利用法とその操作方法などについて、参加者は実際に操作をしながらの研修に取り組みました。

次ページはその一部を紹介するものです。

MGN (Global Portal) への入り方

- ① ホームページ画面の左上、サイトのURLが表示されている長方形の欄にGlobal PortalのURL (インターネットアドレス) を書き込む

※ホームページはYahoo、MSNなど、どのプロバイダーのものでもかまいません

※入力するURLはお知らせ済みのものです

※形式は https://〇〇〇△△△.〇-〇〇〇.comです。

○：アルファベット、△：数字



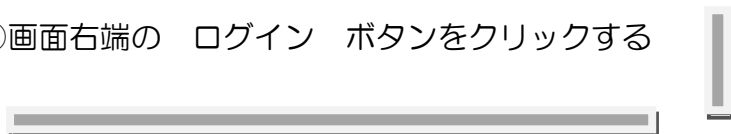
- ② URL欄の右端の回転型矢印をクリックする



- ③ Global Portalの入り口にあるそれぞれの欄に、お知らせしてある認証コード、パスワードを入力
※認証コード〇〇〇△△_△△△@〇-〇〇〇.com
パスワード △△△△△



- ④ 画面右端の ログイン ボタンをクリックする



ボランティア人材バンクの利用の仕方

- ① Global Portalの画面の下方が表示されるように画面をずらす

- ② 下方左側にある 外部アプリケーション欄内の町田市人材DB をクリックする

- ③ ボランティア情報検索 ボタンをクリックする

- ④ 検索画面の各項に、文言またはレ点で条件を入力する

- ⑤ 検索ボタンをクリックする



2018年度ボランティアコーディネーター説明会【予定】

日時 2018年4月11日(水) 午前10時00分～12時00分

場所 町田市教育センター 4階大会議室